

第 148 回 進化の証拠 1

■ 示準化石,示相化石という用語を説明せよ。

- ・ 示準化石：ある限られた時代に栄え、生存年代が短い生物。地層の年代を決める基準となる。例は以下の通り。
- ・ 古生代：三葉虫,フズリナ,木生シダ植物
- ・ 中生代：恐竜,アンモナイト,ソテツ類
- ・ 新生代：マンモス etc

■ 中間の化石の例を挙げよ。

- ・ シソチョウ：は虫類と鳥類をつなぐ化石
- ・ シダ種子植物：シダ植物と種子植物をつなぐ化石

■ 系統化石について例を挙げながら説明せよ。

- ・ 連続した地層において、段階的な変化の過程が観察される一連の化石
- ・ ウマの系統化石：エオヒップス→メソヒップス→メリキップス→プリオキップス→エウクス
- ・ ウマの場合、体の大型化,指数の減少,臼歯の複雑化や歯のセメント質の形成などがみられる。これは森林から草原へと生活の場が変化したことへの適応である